



市内企業がマスクを寄付

株式会社三五関東の取り組み 2月17日

(株)三五関東が、(株)三五グループ生産の不織布マスク6,000枚を平間病院(平間敬文院長)に寄付しました。

この不織布マスクは、親会社である(株)三五の恒川社長の発案から、自社によるマスクの量産化に成功したものです。マフラー、プレス、鉄鋼二次製品といった鉄を扱ってきた同社にとって、マスクの生産は未知の領域であり、手探りで開発でした。令和2年4月のプロジェクト開始から、9月には量産化にこぎつけ、現在では1日当たり約6,000枚の生産が可能となっており、国内外・グループ会社を含む全従業員に配布をしています。

今回、寄付を受けた平間病院の平間院長は「毎日大量に使うものなので、非常に助かります」と話していました。



上：マスクを寄付する(株)三五関東・野本工場長(左)と平間院長(右)

左：工場でのマスク生産の様子

市指定文化財「今泉不動堂」は、戦国時代に下妻一帯を支配した多賀谷氏が建立したものと伝えられています。これまで、地元氏子をはじめ住民の皆さんが維持管理を続けてきたところですが、犯罪被害などを受けることもありました。

状況を知った市内在住の増田和順さんが防犯カメラを寄付することとなり、引き渡しが行われました。寄付された防犯カメラは太陽光発電などで電力をまかない、暗闇での撮影も可能なものです。

氏子総代の館野力さんは「今泉不動堂を大事に守っていくために活用したいです」と話していました。



防犯カメラを手渡す増田さん(左)と館野さん(右)および今泉不動堂氏子総代の皆さん

犯罪防止へ防犯カメラ
市民が今泉不動堂に寄付 1月24日



取れたての新鮮野菜を販売しました

ビアスパークしもつま(指定管理者・(株)クリーン工房)では、新型コロナウイルスの影響による需要減などにより経営に打撃を受けている農産物生産者を支援するため、本館前ロータリーでのドライブスルー形式や出張販売による農産物直売を実施。農産物は、キャベツやネギなどを箱詰めにし、1,000円~3,000円のセットとして販売しました。

ビアスパークしもつまは、茨城県独自の緊急事態宣言を受けて、2月20日まで休館していましたが、その間、本館ロビーでの農産物販売ができない状況となりました。企画した(株)クリーン工房の松澤章さんは、「生産者のみなさんにはいつも助けていただいています。この恩返しができるよう、今後も下妻の野菜をPRしていきます」と話していました。

コロナ禍を協力して乗り切ろう
ビアスパークしもつまが農家支援

温かい善意ありがとうございます

JA常総ひかり農業協同組合「黄色帽子」寄贈

3月2日、JA常総ひかり農業協同組合から市内の新1年生全員に黄色帽子約330個が寄贈されました。塚本治男代表理事組合長は「交通安全の推進のため、毎年寄贈しています。事故防止のため、少しでも役立ててもらえれば」と話していました。



左から飯塚下妻千代川支店長、武笠下妻支店長、塚本組合長、菊池市長、高橋教育部長

消防・防災 消防交通課 ☎43-2119 FAX43-4214

下妻市消防団第1分団に消防ポンプ自動車

2月24日、下妻市消防団第1分団に消防ポンプ自動車が納車され、市役所本庁舎で引き渡しを行いました。

納車式後、第1分団の司代分団長は「新車両の導入は、かねてより要望をしていたものです。新しい車両はオートマチック車であり、団員にとって利便性の向上が期待されます。これまで以上に活動がしやすくなると思っています」と話していました。



配備された消防ポンプ自動車と下妻市消防団第1分団の団員の皆さん

表敬訪問 下妻中学校女子バスケットボール部員によるオンライン表敬訪問

2020年度 第1回全国U15バスケットボール選手権大会ベスト8



下中女子バスケ部の皆さんと、(中央のモニター上)市役所千代川庁舎で応対する(左から)横瀬教育長、菊池市長、田中市議会議長

■開催日：1月4日~1月7日
■会場：武蔵野の森総合スポーツプラザ
2月19日、今年1月に開催された当大会でベスト8となった下妻中学校女子バスケットボール部員が、市長へオンラインによる表敬訪問を行いました。
3年生の清水瑠奈さんは「大会を開催してもらい、感謝しています。自分たちらしく、3年間で学んだことを出し切れ、悔いのない試合ができました。今まで支えてくれた全ての人に感謝のプレーを見せることができました」と話していました。

有料広告欄

有料広告欄